

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

|         |                  |
|---------|------------------|
| 事業所番号   | 3873700383       |
| 法人名     | 医療法人社団みのり会       |
| 事業所名    | グループホームまほろば      |
| 所在地     | 愛媛県西予市三瓶町朝立2-1-7 |
| 自己評価作成日 | 平成25年10月25日      |

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

|          |  |
|----------|--|
| 基本情報リンク先 |  |
|----------|--|

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

|       |                           |
|-------|---------------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人JMACS            |
| 所在地   | 愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501 |
| 訪問調査日 | 平成25年11月11日               |

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

|  |
|--|
| <p>自宅で使っていた馴染みのものを持ってきていただき、居室は、家庭で生活していた時と変わらないような雰囲気作りをしている。</p> |
|--|

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

|  |
|--|
| <p>法人理念や7項目の運営方針に沿って職員で話し合い、「チーム一丸となり最高のサービスを提供する」ことを年間目標に決めておられ、玄関等に掲示されていた。又、職員も一人ひとりが目標を立て、半年ごとに自己評価するようになっている。さらに、施設長や計画作成担当者が面談してモニタリングされており、職員個々の目標達成が事業所のサービスの質向上につながるよう取り組まれている。</p> <p>事業所は、2年前に敷地内に新築して移転された。その際には見学会を開催され、地域の方達や同業者の方達が見に来てくださった。建物内にはトレーニング機器が揃った運動施設を併設されており、地域の方も利用されている。近くの文化会館へは、文化祭を見学に行かれたり、図書館を利用しておられ、時には、字の大きな本や紙芝居を借りて来られ、皆で楽しまれている。</p> <p>以前は午前中が入浴時間であったが、管理者は、「家に入っていたように支援したい」と考え、事業所移転を機に、午後から、又、利用者の希望で夜間入浴できるよう、職員のシフト等も工夫して支援されている。</p> |
|--|

### ・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果<br>該当するものに印                                   | 項目 | 取り組みの成果<br>該当する項目に印   |
|----|---|----|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目：23,24,25)        | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています<br>(参考項目：9,10,19)    |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目：18,38)              | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目：2,20)                       |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目：38)                    | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目：4) |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>(参考項目：36,37)      | 66 | 職員は、生き活きと働けている<br>(参考項目：11,12)  |
| 60 | 利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている<br>(参考項目：49)                   | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う   |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目：30,31)          | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                     |
| 62 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている<br>(参考項目：28) |    |   |

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホームまほろば

(ユニット名) 西ユニット

記入者(管理者)

氏名 菊池 文孝

評価完了日 平成25年 10月 25日

## 自己評価及び外部評価表

| 自己評価            | 外部評価 | 項目  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|-----------------|------|---|---|-------------------------------|
| <b>理念に基づく運営</b> |      |   |   |                               |
| 1               | 1    | 理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている   | (自己評価)<br>利用者がその人らしい生活を続けていけるよう支援するための理念を掲げ職員が共有して個々に合わせたケアを行っている。  |                               |
|                 |      |   | (外部評価)<br>法人理念や7項目の運営方針に沿って職員で話し合い、「チーム一丸となり最高のサービスを提供する」ことを年間目標に決めておられ、玄関等に掲示されていた。又、職員も一人ひとりが目標を立て、半年ごとに自己評価するようになっている。さらに、施設長や計画作成担当者が面談してモニタリングされており、職員個々の目標達成が事業所のサービスの質向上につながるよう取り組まれている。   |                               |
| 2               | 2    | 事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している   | (自己評価)<br>地域の行事に参加したり、舞踊、合奏のボランティアに来ていただいたりしている。また、回覧板を回す時は、利用者と共に出向き地元の方との交流を図るように努めている。   |                               |
|                 |      |   | (外部評価)<br>事業所は、2年前に敷地内に新築して移転された。その際には見学会を開催され、地域の方達や同業者の方達が見に来てくださった。建物内にはトレーニング機器が揃った運動施設を併設されており、地域の方も利用されている。初めての取り組みとして、近々、近くの保育園との「交流会」を計画されており、園児が来てくれて踊りを見せてくれたり、利用者と一緒に玉入れ等して楽しめるよう計画されていた。利用者が園児にお菓子を渡すようなサプライズもあるようだ。近くの文化会館へは、文化祭を見学に行かれたり、図書館を利用しておられ、時には、字の大きな本や紙芝居を借りて来られ、皆で楽しまれている。 |                               |
| 3               |      | 事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | (自己評価)<br>気軽に訪問できる雰囲気作りに努め、相談でも受け付ける体制もとっている。   |                               |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|--|---|-------------------------------|
| 4    | 3    | 運営推進会議を活かした取組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実<br>際、評価への取り組み状況等について報告や<br>話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上<br>に活かしている      | (自己評価)<br><br>地域の方やご家族の参加を得て活動報告や意見交換をし<br>て、サービスの質の向上に繋げている。   |                               |
|      |      |  | (外部評価)<br><br>現在、会議メンバーは、任期を決めてお願いされており、法<br>人理事や民生委員、ご家族等決まった方に参加していただ<br>いている。会議時には、行事や研修、職員会議等の活動を<br>報告して意見交換され、今後どのように取り組むかというこ<br>とを公表されている。又、認知症について勉強会を行ったこ<br>ともある。                                    |                               |
| 5    | 4    | 市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事<br>業所の実情やケアサービスの取組みを積極的<br>に伝えながら、協力関係を築くように取り組ん<br>でいる                | (自己評価)<br><br>会議以外にも訪問や電話などで連携を図り、助言を求めら<br>るようになっている。  |                               |
|      |      |  | (外部評価)<br><br>年に2回、介護相談員の訪問がある。管理者は、今後、市と<br>相談して、地域に向け認知症介護教室等も行いたいと考え<br>ておられた。   |                               |
| 6    | 5    | 身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定基準における<br>禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解<br>しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしな<br>いケアに取り組んでいる | (自己評価)<br><br>施設内研修を行い身体拘束に職員が正しく理解し、利用者<br>がのびのびと生活できるように支援している。   |                               |
|      |      |  | (外部評価)<br><br>事業所は、建物の2階に位置しており、利用者はエレベ<br>ーターが階段で上り下りされている。居室には、ナースコール<br>がついており、利用者によっては、必要時に鳴らして職員を<br>呼ぶ方がいる。起き上がり時に、転倒する心配のある方に<br>は、ベッドに鈴を付ける等して対応されたが不安があり、事<br>業所からベッド柵をご家族に提案して、了承を得て設置して<br>いるケースがある。 |                               |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ)  |
|------|------|--|--------|--|
| 7    |      | <p>虐待の防止の徹底<br/>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>      | (自己評価) | <p>身体だけでなく言葉による虐待についても、施設内研修を通じて学んでいる。日々においては、職員で気付き合えるよう意識している。</p>                           |
|      |      |  |        |  |
| 8    |      | <p>権利擁護に関する制度の理解と活用<br/>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p> | (自己評価) | <p>施設内研修の中で、人権擁護に関しての学習を行っている。</p>   |
|      |      |  |        |  |
| 9    |      | <p>契約に関する説明と納得<br/>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>                      | (自己評価) | <p>契約時には利用者のご家族に重要事項等の説明を行い契約内容の理解を図っている。また質問や不安な点も聞くようにしている。</p>                              |
|      |      |  |        |  |
| 10   | 6    | <p>運営に関する利用者、家族等意見の反映<br/>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>                   | (自己評価) | <p>ご意見箱の設置と相談受付体制をとっており、ご家族、利用者からの意見をいただけるようにしている。また、面会時には積極的にコミュニケーションを図り、話しやすい雰囲気を作っている。</p> |
|      |      |  | (外部評価) |  |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価                     | 外部評価 | 項目   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|--------------------------|------|--|--|-------------------------------|
| 11                       | 7    | 運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                       | (自己評価)   |                               |
|                          |      |  | 月に1回のスタッフ会議には職員から意見を出してもらい、意見交換をしている。その後、主任会で検討し反映している。  |                               |
|                          |      |  | (外部評価)   |                               |
|                          |      |  | 事業所内研修を行い、職員が勉強するような機会を作っておられる。事業所入り口には、職員の顔写真と名前を掲示しておられ、ご家族にも分かるようにされている。移転を機に、職員の休憩時間を確保できるよう取り組まれている。職員は、午前11時半から随時、順番に休憩を取っておられる。 |                               |
| 12                       |      | 就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている       | (自己評価)   |                               |
|                          |      |  | 人事評価を行っており、個々の努力や実績について評価している。面接を通じて意欲がもてるような働きかけをしている。  |                               |
| 13                       |      | 職員を育てる取組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている           | (自己評価)   |                               |
|                          |      |  | 施設内研修会を行い、知識の向上に努めている。また、新人職員には課業チェック(OJT)にも取り組んでいる。   |                               |
| 14                       |      | 同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | (自己評価)   |                               |
|                          |      |  | 併設の病院、老人保健施設などにも出向き勉強会、講習会などに参加し交流や質の向上を図っている。また他のグループホームの見学にも行っている。   |                               |
| <b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |      |  |  |                               |
| 15                       |      | 初期に築く本人との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている         | (自己評価)   |                               |
|                          |      |  | 情報を出来る限り多く収集し、共有することにより、その人に合ったケアができるように努めている。   |                               |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ)  |
|------|------|---|--|--|
| 16   |      | 初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている     | (自己評価)   |  |
|      |      |   | 入居前の説明や見学の際には、家族が抱えている不安や要望等を問いかけ、質問や要望には真摯に対応している。  |  |
| 17   |      | 初期対応の見極めと支援<br>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | (自己評価)   |  |
|      |      |   | 本人と家族が必要としている支援と一緒に考えニーズに合ったサービスが利用できるように対応している。   |  |
| 18   |      | 本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                    | (自己評価)   |  |
|      |      |   | 食事を一緒に作ったり、洗濯物を一緒にたたんだり、毎日の生活の中で出来ることはしていただき、出来ないところを支援する体制を作っている。また、心配事や想いを十分に聞き、不安を取り除けるよう努力している。                                      |  |
| 19   |      | 本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている     | (自己評価)   |  |
|      |      |   | 家族との連絡を密にし、本人からの要望を伝えたりしてお互いの想いに配慮しながらよりよい信頼関係を築いている。  |  |
| 20   | 8    | 馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                 | (自己評価)   |  |
|      |      |   | 家族と連絡をとり、できる限り本人の要望に沿えるように努力している。又、面会に来られた際には本人の近況を報告している。   |  |
|      |      |   | (外部評価)   |  |
|      |      |   | ご家族が毛糸等を用意していただき、編み物をされる方もいる。利用者によっては、時々ご兄弟の飲食店を手伝いに行かれたり、一緒にドライブを楽しまれる方もいる。利用者のご自宅にレモンを収穫に行かれ、食事に使用されたこともある。又、ご自宅に戻って犬のえさやり等を続けている方もいる。 | 利用者がその人らしい暮らしを続けていけるような支援に向けて、今後さらに、利用者一人ひとりのこれまで大切にしてきた馴染みの人や場等を探り、出かけてみるような支援につなげていかれてほしい。 |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価                             | 外部評価 | 項目   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|----------------------------------|------|--|---|-------------------------------|
| 21                               |      | 利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                | (自己評価)<br>個々の性格、行動を把握し、利用者同士のトラブルなどないようお互いに関わりをもちやすい環境作りに努めている。   |                               |
| 22                               |      | 関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | (自己評価)<br>入院をされたり、他施設へ移られた時でも面会に行き、繋がりを持てるようにしている。  |                               |
| <b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |   |                               |
| 23                               | 9    | 思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                        | (自己評価)<br>日々の関わりの中で、一人ひとりの想いを受け止めるようにしている。希望を聞いたり、表情などから本人の意識をくみ取れるように努めている。  |                               |
|                                  |      |  | (外部評価)<br>職員は、それぞれに利用者とかかわりの中から、これまでの暮らしぶり等について聞いておられる。<br>今後さらに、利用者の意向を探る取り組みを工夫して、支援に採り入れてほしい。管理者は、利用者の生活習慣等も探ってみたいと考えておられた。意思表示が難しい利用者についてもアセスメントを工夫して、ご本人主体の介護計画作成に取り組みしてほしい。 |                               |
| 24                               |      | これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                    | (自己評価)<br>家族、ケアマネージャー、本人との会話により生活歴など聞き、過去、現在の情報収集に努め本人に快適に過ごしていただくように努めている。   |                               |
| 25                               |      | 暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている                                  | (自己評価)<br>カルテ、申し送り、日誌、連絡表を利用し、全職員が把握できるようにしている。又、日誌にはその日の状態がわかるように記録するように努めている。   |                               |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|---|---|-------------------------------|
| 26   | 10   | チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | (自己評価)  |                               |
|      |      |   | 介護計画の作成時には、本人やご家族の意向も伺い、意向を取り入れた、介護計画を作成するようにしている。  |                               |
|      |      |   | (外部評価)  |                               |
|      |      |   | 事業所では、新たに介護計画作成から評価まで、流れに沿った様式をA4紙の裏表を使用して作っておられる。又、計画内容に番号を振り、介護記録にはその番号を記して記録し、モニタリングの材料にされている。 |                               |
| 27   |      | 個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | (自己評価)  |                               |
|      |      |   | 個別記録に日々の様子や変化を記録し、職員がいつでも見ることができるようし、情報共有を行いよりよいケアができるように努めている。                                   |                               |
| 28   |      | 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | (自己評価)  |                               |
|      |      |   | 個別の状態、ニーズに応じたサービスの提供支援ができるように取り組んでいます。  |                               |
| 29   |      | 地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                         | (自己評価)  |                               |
|      |      |   | 地域の行事に参加やボランティア訪問など、利用者がいきいきと生活できるように努めている。   |                               |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|---|---|-------------------------------|
| 30   | 11   | <p>かかりつけ医の受診支援<br/>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>                                | <p>(自己評価)</p> <p>本人、ご家族の希望があれば、希望の医療機関に受診も出来るようにしている。また、隣設の病院と連携しており、休日や夜間でも相談や診察してもらえる体制になっている。</p>  |                               |
|      |      |   | <p>(外部評価)</p> <p>利用者の気になることがあった場合は、口頭で病院に報告されており、必要時には母体病院の受診や往診で対応してもらっている。又、24時間相談や診てもらえることができる体制がある。利用者が以前から診てもらっていた医療機関が町外の場合は、ご家族に受診の付き添いをお願いされている。利用者の体重増加等もみられたため、移転を機に、栄養管理されたメニューで食材が届く業者からの食事を提供されている。利用者の「食事量が適量になった」こと等もあり、減量につながった方もいるようだ。母体病院にリハビリに通っている方もいる。</p> |                               |
| 31   |      | <p>看護職との協働<br/>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>                       | <p>(自己評価)</p> <p>医療連携している訪問看護ステーションより、週一回訪問看護師に来ていただいている。また、利用者の状態に応じ、いつでも相談できる体制をとっている。</p>  |                               |
| 32   |      | <p>入退院時の医療機関との協働<br/>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>連携している医療機関が隣設しており入院した際には、状態などについて情報交換や相談ができる体制をとっており、退院後について本人や家族の希望を踏まえて話し合いを行っている。</p>   |                               |
| 33   | 12   | <p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br/>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p> | <p>(自己評価)</p> <p>本人や家族と話し合いを行い、希望にそえるように努めている。ターミナルケアも考えている。</p>  |                               |
|      |      |   | <p>(外部評価)</p> <p>入居契約時には最期のことについては利用者やご家族に伝えず、利用者の状態をみながら医師から話があるようになっていく。医師から直接ご家族へ説明されたり、職員がご家族に伝えておられる。現在、ご家族は最期は病院で迎えることを選ばれるようだ。事業所の浴室には、いすに座ったまま浴槽で温まることができる機械浴槽の設備があり、現在は、半数ほどの方が利用されている。</p>  |                               |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価                          | 外部評価 | 項目  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|-------------------------------|------|---|---|-------------------------------|
| 34                            |      | 急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | (自己評価)  |                               |
|                               |      |   | マニュアルの作成や勉強会などを行い急変時の対応などについて勉強をしている  |                               |
| 35                            | 13   | 災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | (自己評価)  |                               |
|                               |      |   | 定期的年2回、夜間帯、日勤帯を想定して避難訓練を行っている。また、運営推進会議などを通じて地域の方への協力をとお願いや地区開催の防災対策会議への参加を予定している。  |                               |
|                               |      |   | (外部評価)  |                               |
|                               |      |   | 年2回、夜間を想定した避難訓練に取り組まれている。職員が利用者役になり、2階から車いすを抱えて下ろす方法等も体験され、回数を重ねるごとに職員は連絡や誘導の手順を理解して来られているようだ。病院は自家発電の設備があり、又、備蓄もされている。災害時には病院の4階に避難することになっている。 |                               |
| <b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |   |   |                               |
| 36                            | 14   | 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている         | (自己評価)  |                               |
|                               |      |   | 利用者一人一人の人格を尊重し、それぞれに応じた声かけに努めている。また、施設内研修を通じて周知している。  |                               |
|                               |      |   | (外部評価)  |                               |
|                               |      |   | 耳が聞こえにくい方には、側でお話したり、テレビは、字幕入りにして配慮されていた。調査訪問時の昼食後、職員は、利用者が車いすをご自分で漕いで洗面台まで行けるよう、車いすの方向を洗面所の方に向け、自走しやすいようにされていた。                                 |                               |
| 37                            |      | 利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている           | (自己評価)  |                               |
|                               |      |   | 利用者とのコミュニケーションの中で、利用者の思いや希望を聞き取ったり、くみとれるように努めている。   |                               |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ)  |
|------|------|---|--|--|
| 38   |      | 日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、<br>一人ひとりのペースを大切に、その日をどの<br>ように過ごしたいか、希望にそって支援してい<br>る | (自己評価)   |  |
|      |      |   | 利用者のペースに合わせ、できることをその方のペースで<br>していただけるように支援している。  |  |
| 39   |      | 身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよ<br>うに支援している  | (自己評価)   |  |
|      |      |   | 利用者の好みを把握し、一緒に洋服を選んでいただくなど<br>し、その人らしさを尊重するようにしている。  |  |
| 40   | 15   | 食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好<br>みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒<br>に準備や食事、片付けをしている         | (自己評価)   |  |
|      |      |   | 利用者の状態に応じ、食事形態や味付けを工夫したり、準<br>備や後片付けなど、出来ることは一緒に行っていたい<br>ている。   |  |
|      |      |   | (外部評価)   |  |
|      |      |   | 移転前は事業所でメニューも考え、食事を作っておられた<br>が、栄養面のこともあり、現在は、朝・昼食は、栄養管理され<br>たメニューで業者から届く食材を使って食事作りされている。<br>又、夕食は、病院の厨房で作った食事が届くようになってい<br>る。利用者のお誕生日は、病院のカフェでケーキを買ってお<br>祝いされたり、利用者によってはおまんじゅうの方が喜ばれ<br>る方もいるようだ。車いすを使用する方の中には、椅子に座<br>り直して食事できるよう支援しているケースもある。野菜を<br>切ったり、下膳してご自分の食器を洗う方もおられた。ご家<br>族が食べものを差し入れする場合は、ご本人の食べられる<br>量だけをお願いできるよう掲示されていた。 | さらに、利用者個々の馴染んだ食べものや季節感のある食<br>事等を味わったり、職員も共感できるような機会も作ってほし<br>い。今後も食事のあり方や職員のかかわり方等を工夫して、<br>利用者個々が食事を楽しめるような支援につなげていかれ<br>てほしい。 |
| 41   |      | 栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通<br>じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習<br>慣に応じた支援をしている              | (自己評価)   |  |
|      |      |   | 状態に応じ、形態をかえたり、一人一人ペースに合わせた声<br>かけを行っている。   |  |
| 42   |      | 口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、<br>一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口<br>腔ケアをしている                       | (自己評価)   |  |
|      |      |   | 毎食後、口腔ケアを行っていただき、利用者の状態に応じ、<br>スタッフが口腔をチェックし、一部介助したり、舌の掃除を<br>行っている。   |  |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|--|--|-------------------------------|
| 43   | 16   | 排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている          | (自己評価)   |                               |
|      |      |  | 利用者の排尿、排便パターンを把握し声かけを行い、トイレでの自立した排泄ができるように支援している。  |                               |
|      |      |  | (外部評価)   |                               |
|      |      |  | 利用者によっては、「トイレに行けますか?」と黒マジックで書いた紙をお見せしてトイレ誘導する場合もある。利用者がトイレを使用する場合、職員は外で待ってられる様子がみられた。            |                               |
| 44   |      | 便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                          | (自己評価)   |                               |
|      |      |  | 腹部マッサージや、体操などの個々にあわせて行っている。  |                               |
| 45   | 17   | 入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている | (自己評価)   |                               |
|      |      |  | 個々にあわせ、順番や時間をずらしたり体調をみながら入浴支援を行っている。希望によっては夕食後も入浴できるよう体制を整えている。                                  |                               |
|      |      |  | (外部評価)   |                               |
|      |      |  | 以前は午前中が入浴時間であったが、管理者は、「家で入っていたように支援したい」と考え、事業所移転を機に、午後から、又、利用者の希望で夜間入浴できるよう、職員のシフト等も工夫して支援されている。 |                               |
| 46   |      | 安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                           | (自己評価)   |                               |
|      |      |  | 利用者一人一人の生活リズムや状態に応じて安心して眠れるよう工夫しながら支援している。   |                               |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ)                                   |
|------|------|---|--------|---|
| 47   |      | 服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている   | (自己評価) | 処方箋など、いつでもスタッフが見ることができるようにし、どのような薬を飲んでいるかを把握し、症状の変化などの確認に努めている。 |
|      |      |   |        |   |
| 48   |      | 役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                              | (自己評価) | 利用者の好きな事、得意なことを通して楽しみや生きがいを見つけていただけるよう支援している。                   |
|      |      |   |        |   |
| 49   | 18   | 日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | (自己評価) | スタッフの人数により、希望にそえない時もあるが、できる限り、利用者の希望に応じ、外に出かけられるようにしている。        |
|      |      |   | (外部評価) |   |
| 50   |      | お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している                              | (自己評価) | おこづかいを持たれている方もおり、買い物などに行き、自分で買われることもある。個々にあわせて管理、支援をしている。       |
|      |      |   |        |   |
| 51   |      | 電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | (自己評価) | 電話をされたり、お手紙を書かれた時には、一緒に出しに行ったりと個々の希望に応じて支援している。                 |
|      |      |   |        |   |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ)  |
|------|------|---|--|--|
| 52   | 19   | 居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価)<br>季節ごとに飾りを変えるなど、利用者が四季を感じられるよう工夫している。また、不快感を与えないよう生理整頓にも気をつけている。   | さらに、季節感や生活感をキーワードに利用者の暮らしやすい環境作りに向けて、今後も工夫を重ねていかれてほしい。又、おしゃべりのきっかけとなったり、利用者の活動意欲につながるようなもの等、利用者とも相談しながら取り組みをすすめていかれてほしい。 |
|      |      |   | (外部評価)<br>新築建物は、手すりを少し低く設置して、利用者が使いやすいように配慮された。テレビの近くに時計やカレンダーを配置しておられる。お祭りの折りの写真を掲示しておられたり、七夕やクリスマスには飾り付けして雰囲気を楽しめるようにされている。台所は、アイランド型キッチンで調理している様子が見え、利用者もかかわりやすいように作られている。テーブル席を複数作り、テレビの前にはソファを設置しておられ、昼食後にはソファに座って編み物をしている方がおられた。 |  |
| 53   |      | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | (自己評価)<br>個々の気に入った。ソファやイスなどで、いつでも過ごしていただけるようにし、利用者同士でお話をされたり、一人で本を読まれたりと、思い思いに過ごしていただけるように努めている。   |  |
| 54   | 20   | 居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | (自己評価)<br>家で使われていた、馴染みのものや、使っていたものを持ってきていただき、本人が居心地よく過ごせるように工夫している。  |  |
|      |      |   | (外部評価)<br>寝具やお位牌やご家族の写真等を持って来られている方もいる。ご家族が来られた時には、ご本人がお好きなものを居室で一緒に食べて過ごされる方もいる。利用者は日中は居間で過ごされることが多く、居室不在の時には、職員が換気等をされている。   |  |
| 55   |      | 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している  | (自己評価)<br>整理整頓を心がけ、安全に生活できるよう努めている。手摺や幅広トイレなどもあり自立支援に繋げている。  |  |